

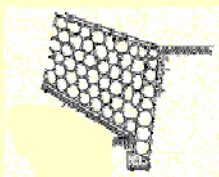
あなたのまわりの擁壁は だいじょうぶですか？

「前の地震でもなんとも無かったし、今どうもなっていないからだいじょうぶ」
なんて思っていないですか？ **擁壁は生きています。**
今だいじょうぶだから将来も安全とは限りません。

● こんな擁壁は要注意！！

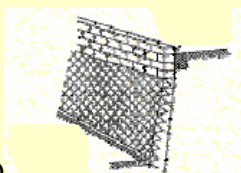
空石積み擁壁

玉石、コンクリートブロック等を積み上げただけのもの。過去の被害事例も多く、構造上問題があります



増し積み擁壁

既存の擁壁の上にコンクリートブロック等を積み、盛土したもの。下段の擁壁に想定以上の負荷がかかり危険です



二段(多段)擁壁

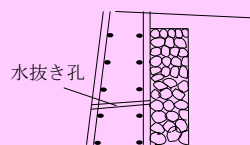
各擁壁が近接していたり、基礎の深さが十分でない場合、下段の擁壁に負荷がかかり危険です



● こんな状態は危ない！！

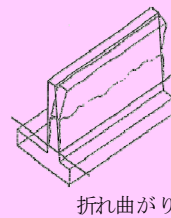
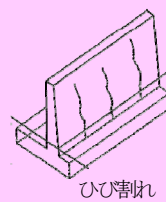
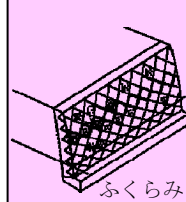
水抜き孔が無い又は詰まっている

宅地の雨水や地下水が適切に排出されないと擁壁に想定外の水圧がかかり、大変危険です



ひび割れ、傾斜、ふくらみなど

目地や出隅部分に幅 2cm 程度のひび割れ、上下左右のずれがある場合や、傾斜により折れ曲がりがあるもの、ふくらみがあり、積み石の間にすき間があるなどの状態は大変危険です



日頃からできる注意事項

- ・ 擁壁の下側の近接地で大規模な掘削をしない
- ・ 水抜き孔の排水状況やひび割れの変化など定期的に外観のチェックをする
(特に大雨や地震の後は入念に！)

お隣の擁壁であっても、もし崩壊した場合大きな被害を受けるのはあなたです。そうなる前に日頃から十分注意し、擁壁の状況に異常が見られた場合は、擁壁所有者と補修等について協議を行うか、土留施設の設置などの自衛手段を行うことが大切です。

◆ 自分の財産は自分で責任を持って守りましょう ◆